



長野県議会議員

今井 あつし

県政報告

皆様のお声をお寄せ下さい。 自民党県議団 E-mail:nagano@jimin.info

危機管理建設委員長に就任



霧ヶ峰高原山林火災 現地調査

危機管理建設委員会は都市計画の策定、道路・河川・下水道・県営住宅などの建設や管理、建築物・景観に関する指導、消防・災害対策などについて調査や議案等の審査をします。

本年度は建設部関係では防災・減災対策について、リニア駅へのアクセス道路についてなどが議論され、県内調査では茅野市北山の国道152号・湯川バイパス建設予定地などを調査しました。湯川バイパスは従来から地元要望が強く、県では県単独事業で調査を進めていましたが、いよいよ来年度事業化の予定です。事業区間は約2.6キロ。幅11メートルの道路を新設し、片側に2.5メートルの歩道を備える方針で、総事業費は約17億円を見込んでいます。

また危機管理部関係では、4月28日に諏訪市霧ヶ峰高原の山林火災があり、諏訪広域消防本部からの要請を受けた危機管理部は長野県消防防災航空隊を出動させるとともに、山梨県・埼玉県・群馬県・岐阜県へも出動要請し、防災ヘリ5機、自衛隊ヘリ2機により散水を計102回実施しました。委員会ではこれらの活動報告を受け、更なる危機管理体制の充実を求めました。



湯川バイパス現地調査

「長野県に住んでいて良かった。」と実感できるような、積極的に政策提言をしていきます。 謹んで新春のお慶びを申し上げます。平成二十六年(2014年)がスタートしました。今年のえとは「馬」ということで、「うまく行く年」になればと思っています。 さて、政権交代により発足した第二次安倍内閣は、経済政策として所謂「アベノミクス」を掲げました。それにより、円安や株高の動きが広がるなかで、特に輸出型製造業は業績回復傾向にあります。地方経済は依然として景気浮揚を実感できる状況にありません。また、四月からは消費税の引き上げが決定しており、それに伴う景気落ち込みの懸念もあります。そうしたなか、第185回臨時国会では成長戦略関連法案が八本成立しました。

政府は新たな成長戦略の実行を加速・強化しようとしています。長野県も国の成長戦略に乗り遅れる事無く、県内経済の構造転換に全力で取り組んでいく年にしていくべきと考えます。 また、本年、長野県は総合五か年計画である「しあわせ信州創造プラン」を策定して二年目となり、計画を着実に実行していく段階となります。県議会としても県民の皆様が「長野県に住んでいて良かった。」と実感できるように、積極的に政策提言をしていきたいと思えます。 平成二十六年が県民の皆様にとって良い年となるよう、精一杯活動して参る所存です。

委員会・議員連盟等(役付)

- 危機管理・建設委員会 委員長
- 議会運営委員会
- 再生可能エネルギー普及促進 議員連盟 (副幹事長)
- がん征圧議員連盟 (幹事)
- 議会改革調査会 (幹事長)



危機管理・建設委員会

長野県がん対策推進条例(仮称)制定検討調査会 県議会のメンバーは以下の通り

顧問	古田 黄土	(自由民主党県議団)
	// 倉田 竜彦	(改革・新風)
会長	宮憚 敏文	(県民クラブ・公明)
副会長	村石 正郎	(自由民主党県議団)
	// 高村 京子	(日本共産党県議団)
幹事長	金子 ゆかり	(県政ながの)
委員	今井 敦	(自由民主党県議団)
	// 下沢 順一郎	(改革・新風)
	// 太田 昌孝	(県民クラブ・公明)
	// 両角 良識	(日本共産党県議団)
	// 宮本 衡司	(県政ながの)
	// 小林 東一郎	(無所属改革クラブ)

本条例については、平成23年7月に長野県議会がん制圧議員連盟が設立され、同議員連盟の承認を得て、平成24年3月に長野県がん対策推進条例(仮称)制定検討調査会を設置して検討を行ってきました。その過程で「長野県がん対策推進条例(案)要綱」をとりまとめ、県民の皆様からの意見募集等を実施した上で、条例案の検討を重ねてきました。



長野県議会は、平成25年9月30日の本会議において、「長野県がん対策推進条例案」を議員提案し、全会一致をもって可決しました。

議員提案により「長野県がん対策推進条例」を制定しました

NAGANO BRANDO SHOP & SPACE

しあわせ信州 シェアスペース (仮称)

Hot
News



しあわせ信州シェアスペース
(東京銀座) 視察

2014年夏オープンを目指す！

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定により、今後、世界に向けたハブ機能が更に高まると共に、2015年3月には北陸新幹線金沢延伸により広がる首都圏マーケットの可能性を長野県内に呼び込む為などの活動拠点が必要とのことから、長野県観光部信州ブランド推進室では2014年夏に「しあわせ信州シェアスペース(仮称)」と称した新たな首都圏総合活動拠点を整備する予定です。

場所は東京都中央区銀座五丁目、銀座和光や三越銀座店の近くで、現在新築中の8階建てビルの1階・2階・4階を賃貸します。ちなみに3階には信州の食材を活かした料理を提供するレストランを誘致する予定です。1階は信州の健康な暮らしを体感しながらショッピングを楽しんで頂き、長野県への来訪や県産品の購入に結び付けていく場所。2階はオープン型キッチンを備えたイベントスペースで、市町村や民間団体なども使用できます。例えば寒天やセロリーを使った長寿食の料理を提供しながら観光PR・移住交流相談会・就職相談会などを開催できる場所です。4階は長野県の農政・商工・観光機能が集まった外商部としての機能を発揮する場であり、また長野県に関係する企業・個人が利用できる共同利用オフィスとしても活用できます。詳細は今後詰めていく予定ですが、観光部では長野県の出城として、県はもとより市町村や民間企業・団体にも積極的に活用してもらいたいと期待しています。

議会 一般質問

平成二十五年

二月定例会

●交通体系ビジョンと

観光振興について

建設部長より、2月補正予算において、国道152号や県道茅野停車場八子ヶ峰公園線など観光地へのアクセス道路や観光地内の道路の舗装、補修等を重点的に進めていく、湯川ハイパスについては早期に事業着手できるように鋭意取り組んでいくとの答弁を得ました。

●笹子トンネル天井崩落事故 の影響と対応について

観光客を回復させるための措置を引き続き中日本高速道路に対して要請するよう求めました。

●市町村土地開発公社の 現状と対応について

市町村が安定的な財政運営のもとに土地開

発公社の課題解決に向けた取り組みが行えるよう、必要な支援を求めました。

●県の高等教育に対する責務と

役割について

県立大学だけでなく、県内に既にある私立大学や私立短大を含め、県が率先して県内進学者の設定や奨学金制度を創設すべきと提案しました。

九月定例会

●県立大学設立準備委員会への

専門部会の設置に向けて

県内私立4大学との意見交換の内容と基本構想への反映についてや、設立準備委員から出された異論を今後どう生かしながら具体化に向けて検討するかを質問するとともに、県内公立大学や私立大学に対する支援策の充実を求め、県内大学への志願者増を図るための共同PRの実施や、県内私立大学等の地域貢献活動への支援策を具体化するとの答弁を知事より得ました。また、大学設置に係る経費を厳しい財政運営の中でどのように折り合いをつけるのかと質問し、準備委員会に設置す

る専門部会での検討を踏まえて示していくとの答弁が知事からありました。

●県内産業を支援する

県の組織と取組について

9月締め切られた国家戦略特区では全国61の地方自治体から提案がされているが、長野県からは1件も申請がなされなかった。申請に至らなかった理由は何かを質問し、知事より「執行機関の責任者として私自身率直に反省したい。政策提言能力を県全体でさらに向上させていきたい」との答弁がありました。

●本庁組織の

改正(素案)について

新設される産業政策監と信州マーケティング戦略担当部長に求める成果と役割は何かを質問し、継続的な効果と機能が発揮されるように再編の検討をさらに深めることを求めました。

十一月定例会

●災害に強い山づくりについて

山の防災機能を高めるためには、幹から土中まで真下に伸びる、いわゆる「直根」を有

する苗木を植栽に用いることが有効であることから、災害に強い森林づくりに直根を活用すべきと提案しました。

●太陽光発電の推進について

良質な再生可能エネルギー施設の設置普及と土地の安全かつ合理的な利用の促進、そして、地権者等の保護などの必要性を訴え、また、太陽光発電施設の林地への設置などの開発行為に対して、何らかの基準を設ける必要があると提言し、太陽光以外の多様な再生可能エネルギー活用も含めた地域活性化に資する規制改革の提案を国に対して積極的に行っていくべきと求めました。

●しあわせ信州シェアスペース

(仮称)の活用について

首都圏での新たな活動拠点を有効に活用するために、運営面、組織体制の充実を求めました。

一般質問の内容については

長野県議会ホームページをご覧ください。

長野県議会
<http://nagano.gijiroku.com/voices/>

視察



再生可能エネルギー普及促進議員連盟視察

視察



元気づくり支援金事業 寒天プロジェクト